

環境経営レポート

株式会社 秋本組

2024年度 第54期

(対象期間 2023年6月1日 ~ 2024年5月31日)



 株式会社 秋本組

発行日：2024年8月31日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11



環境経営方針

株式会社秋本組は『次世代のための、地球にやさしい環境の整備』に沿って、地球環境問題と事業の発展を両立させる企業活動を推進いたします。

環境保全への行動指針

1. 建設事業に伴う環境負荷の低減に努めます。

- ① 電力及び自動車燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
- ② 水使用量及び廃棄物の継続的な削減



2. 建設事業を通じて継続的に環境改善に努めます。

- ① 社会貢献活動
- ② 無電柱化工事業を通じ防災・老朽化インフラの環境整備に貢献します。
- ③ 廃棄物の再生資源化及び再生資源の積極利用



3. 本社のエネルギー資源使用量の削減に努めます。

4. 関係する環境法規等及び地元との約束を遵守します。

5. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。



制定日：2012年9月1日

改定日：2021年3月1日

株式会社 秋本組

代表取締役 秋本 賢

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 秋本組
代表取締役 秋本 賢
- (2) 所在地 (倉庫含む)
本 社 兵庫県尼崎市南武庫之荘11丁目2番1号
倉 庫 同上
資材置き場 同上
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役 秋本 賢 TEL: 06-6438-2478
担当者 総務部 西 裕美 TEL: 同上
- (4) 事業内容
土木工事一式 (電線共同溝工事・道路改良工事・浮きゴミ・側溝清掃工)
産業廃棄物収集運搬業

- (5) 事業の規模
法人設立 1970年9月1日 (創業 1959年2月18日)
資本金 4,550 万円
売上高 545百 万円

	本社	倉庫棟	資材置き場棟	合計
従業員	18 名	名	名	18 名
延べ床面積	292.7 m ²	170.1 m ²	174.6 m ²	637.4 m ²

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	2,406 t		
中間処理量	0 t	うち再資源化量	0 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	0 t	うち再資源化量	0 t

車種	台数	備 考
2 t キャブオーバー	3 台	
4 t キャブオーバー	1 台	
6 t キャブオーバー	1 台	
4 t ダンプカー	1 台	
合計	6 台	

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 秋本組
 対象事業所: 本 社
 対象外: なし
 活動: 土木工事一式 (電線共同溝工事・道路改良工事・浮きゴミ・側溝清掃工)
 産業廃棄物収集運搬業

□許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

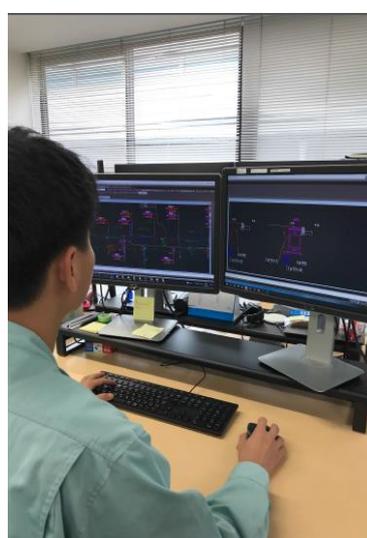
許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替 保管	廃棄物の種類																		
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい				
兵庫県	第02803021580号	令和6年4月23日	令和11年4月22日	無	○	○						○											
大阪府	第02700021580号	令和2年8月4日	令和7年8月3日	無	○	○						○											

※ 兵庫県

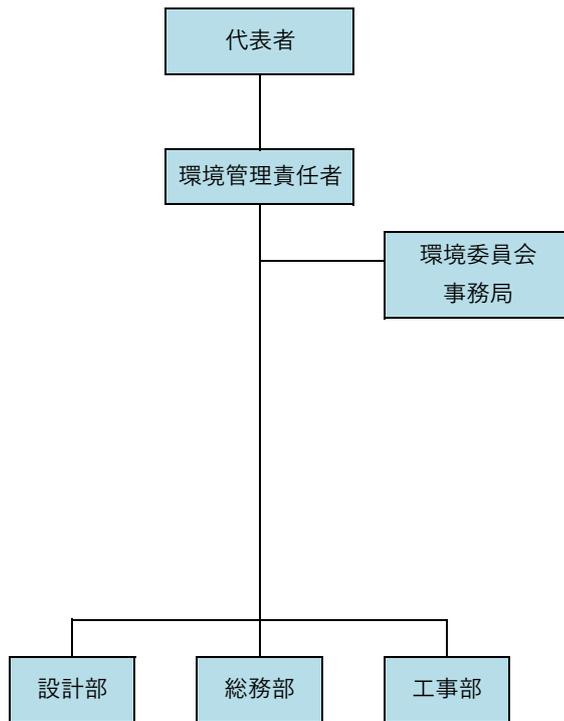
- ・汚泥=水銀含有ばいじん等を除き、石綿含有産業廃棄物を含む

大阪府

- ・石綿含有産業廃棄物を含む
- ・水銀使用製品産業廃棄物を除く
- ・水銀含有ばいじん等を除く



環境経営組織及び役割・責任・権限



	役割・責任・権限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる ③資源(人・もの・金)の用意をする ④エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境管理責任者、環境委員等を任命する
環境管理責任者	①エコアクション21建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21書類の承認をする ④環境委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
環境委員会	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長及び全従業員	①自部門の環境経営目標、環境経営計画の達成と実績の把握を行う ②環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する

主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	164,828	165,330	150,671
Scope1 (化石燃料)	kg-CO2	157,420	158,069	146,139
Scope2 (電力)	kg-CO2	7,408	7,261	4,531
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	781	702	441
産業廃棄物排出量	t	12	0	0
水使用量	m ³	358	399	368
※電力の二酸化炭素排出係数 (調整後)		0.334	0.334	0.334
※負荷の実績は工事現場を含む		関西電力	関西電力	関西電力

kg-CO2/kWh

環境経営目標及びその実績

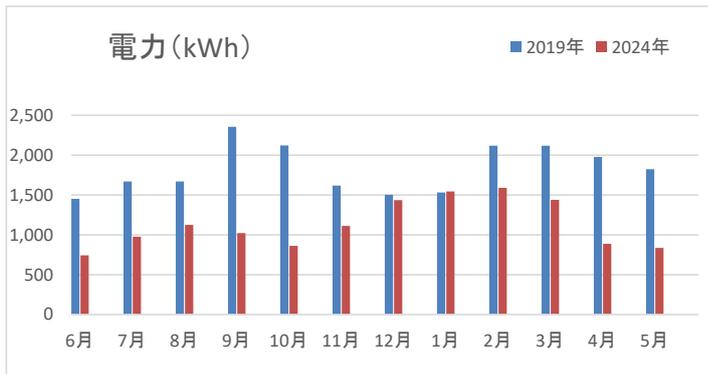
項目	年度	2019年	2024年度		評価	2025年度	2026年度
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	7,261	7,225	4,531	○	7,189	7,116
	基準年度比		99.5%	63%		99.0%	98.0%
売上高原単位	kg-CO2/百万円	13.937	13.867	8.314	○	13.798	13.658
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	269,311	269,311	146,139	○	266,618	263,925
	基準年度比		100%	54%		99%	98%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	276,572	276,536	150,671	○	273,806	271,041
一般廃棄物の削減	kg	1,026	995	441	○	985	975
	基準年度比		97%	44%		96%	95%
再生資源の積極利用		設計書を元に積極利用する					
水道水の削減	m ³	358	340	368	×	337	333
	基準年度比		95%	108%		94.0%	93%
化学物質の適正管理		手順書に基づく適正管理					

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

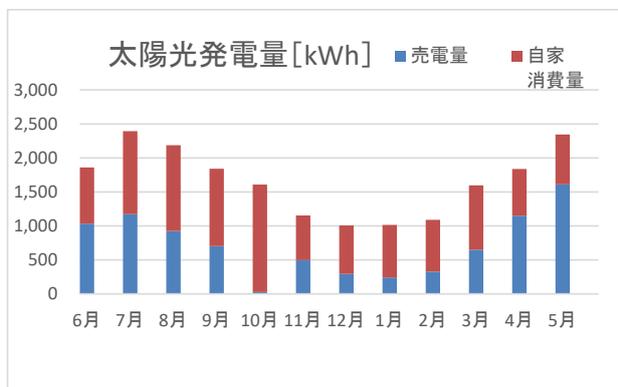
活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
・数値目標	○	空調機フィルターの定期清掃の実施、不要照明の消灯も意識できていた。 定期的に従業員の意識付けを実施し、このまま継続していく。
・原単位目標	○	
・空調機フィルターの定期清掃	○	
・不要照明の消灯	○	
・人感センサーによる管理	○	
・LED照明の採用	○	
・太陽光発電設備の利用	○	



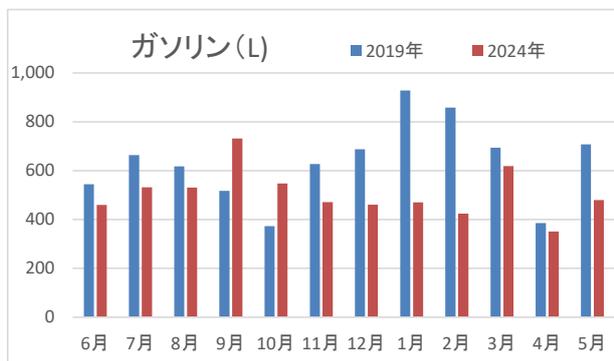
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	1,452	1,668	1,670	2,356	2,121	1,619	1,504	1,531	2,119	2,119	1,977	1,824
2024年	743	977	1,123	1,022	863	1,111	1,434	1,543	1,590	1,440	886	835

【太陽光発電】

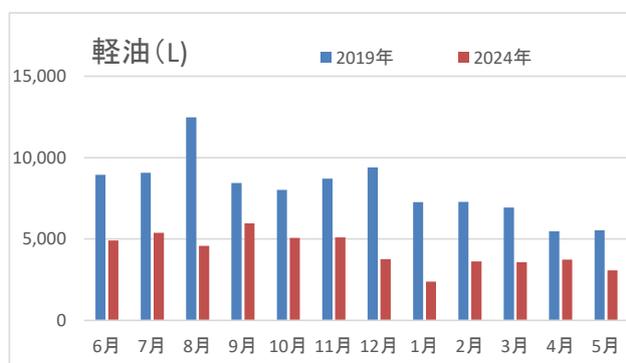


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
発電量	1,860	2,392	2,186	1,842	1,608	1,152	1,007	1,014	1,090	1,598	1,838	2,343
売電量	1,034	1,172	925	702	26	497	294	242	327	649	1,149	1,612
自家消費量	826	1,220	1,261	1,140	1,582	655	713	772	763	949	689	731

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・数値目標	○	現状維持のまま、急発進・急停止を控えるようエコドライブの意識付けをしていく。
・エコドライブの徹底	○	
・効率的なルートで走行	○	

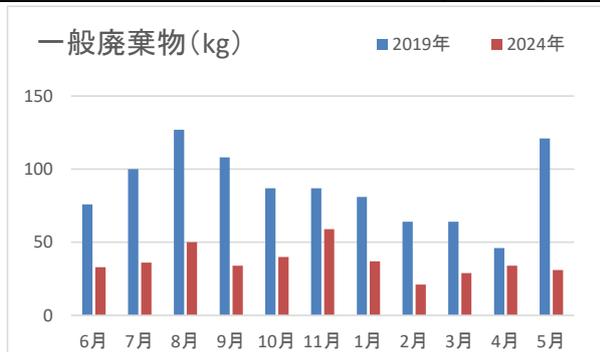


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	544	664	618	517	373	627	688	928	858	694	385	708
2024年	459	532	531	732	548	471	461	470	424	618	351	479



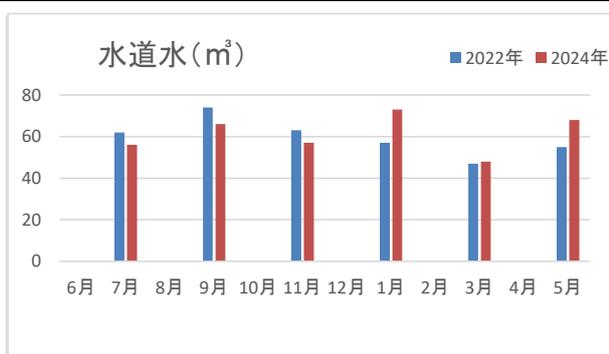
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	8,938	9,072	12,469	8,441	8,014	8,715	9,398	7,259	7,285	6,938	5,476	5,541
2024年	4,916	5,386	4,577	5,963	5,072	5,104	3,770	2,383	3,616	3,579	3,733	3,080

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・数値目標	○	ゴミの分別を意識した結果と思われる。引き続きペーパーレス化や裏紙使用に取り組んでいく。
・ゴミ分別の徹底	○	
・資料や文書のペーパーレス化	○	
・使用済用紙の裏紙利用	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	76	100	127	108	87	87	60	81	64	64	46	121
2024年	33	36	50	34	40	59	37	37	21	29	34	31

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・数値目標	×	目標には及ばなかったが、昨年より使用量は減っている。目標値を変更したことにより各人の節水への意識が高まったのか、このまま皆で節水を心がけていく。
・節水呼びかけの表示	○	
・水道使用時の節水の励行	○	
・自動水栓の利用	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2022年	0	62	0	74	0	63	0	57	0	47	0	55
2024年	0	56	0	66	0	57	0	73	0	48	0	68

再生資源の積極利用
設計書を元に積極的に利用することができました

化学物質の適正管理
手順書に基づいて適正に管理できました

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出、産業廃棄物収集運搬
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物の再資源化
騒音規制法	重機、コンプレッサー
振動規制法	重機、コンプレッサー
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守している。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありません。

□外部からの環境上の苦情・要請等

苦情無し

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年5月10日 PM1：00～PM1：30	■実施場所 本社事務所
■参加者： 秋本恵理子 黒田彩佳 加藤なつみ 西裕美 古川美樹 古河奈津希	■実施内容 事務所内火災発生 ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 建物面積が狭く、構造がシンプルなので速やかに行動出来た。	■手順書の変更の必要性： あり ・ なし
■実施状況 事務所内より火災が発生したと想定し、通報・誘導・消火器の消火訓練を行う ①通報、初期消火、避難誘導等を、手順書を元に、確認する ②通報時の説明内容（社名・住所・火災の状況など）を練習する ③消火器の設置場所を、[消火器設置図]を元に、確認する ④避難経路、出入口の場所及び緊急避難場所を、[避難経路図]を元に、現地確認する	

代表者による全体の評価と見直し・指示

基準年度である2019年からこの5年の間で、太陽光発電設備の設置、事業用地の整備、事務所内照明のLED化、人感センサーの設置と、本社の整備を行ってきました。太陽光発電設備の効果が大きく、二酸化炭素排出量は著しく減り、環境への影響の軽減に貢献できました。その為、目標数値の大幅な見直しが必要と考えます。水使用量についても同様に、従業員増加により数年にわたり増加傾向にあり、現状の環境に見合った目標数値の設定が必要になってきました。そのため2025年度の結果により目標値を検討します。自動車燃料については引き続き安全運転とエコドライブを周知徹底し、環境負荷の軽減の意識付けを継続させていきます。

今後も、環境に配慮したこのような取り組みが各自に定着するよう、環境改善活動に努めてまいります。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

2024年8月31日 代表取締役 秋本 賢

これまでの環境活動の紹介

・事務所周辺清掃活動



・太陽光パネル設置



・事務所内LDE化



・人感センサースイッチ





1. 貧困をなくそう
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



10. 人や国の不平等をなくそう
国内および国家間の格差を是正する



2. 飢餓をゼロに
飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



11. 住み続けられるまちづくりを
都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする



3. すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



12. つくる責任 つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを確保する



4. 質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



13. 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



5. ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



14. 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



15. 陸の豊かさを守ろう
陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



16. 平和と公正をすべての人に
持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



8. 働きがいも経済成長も
すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する



17. パートナーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

11 はSDGsに紐づく機秋本組の取組内容です